

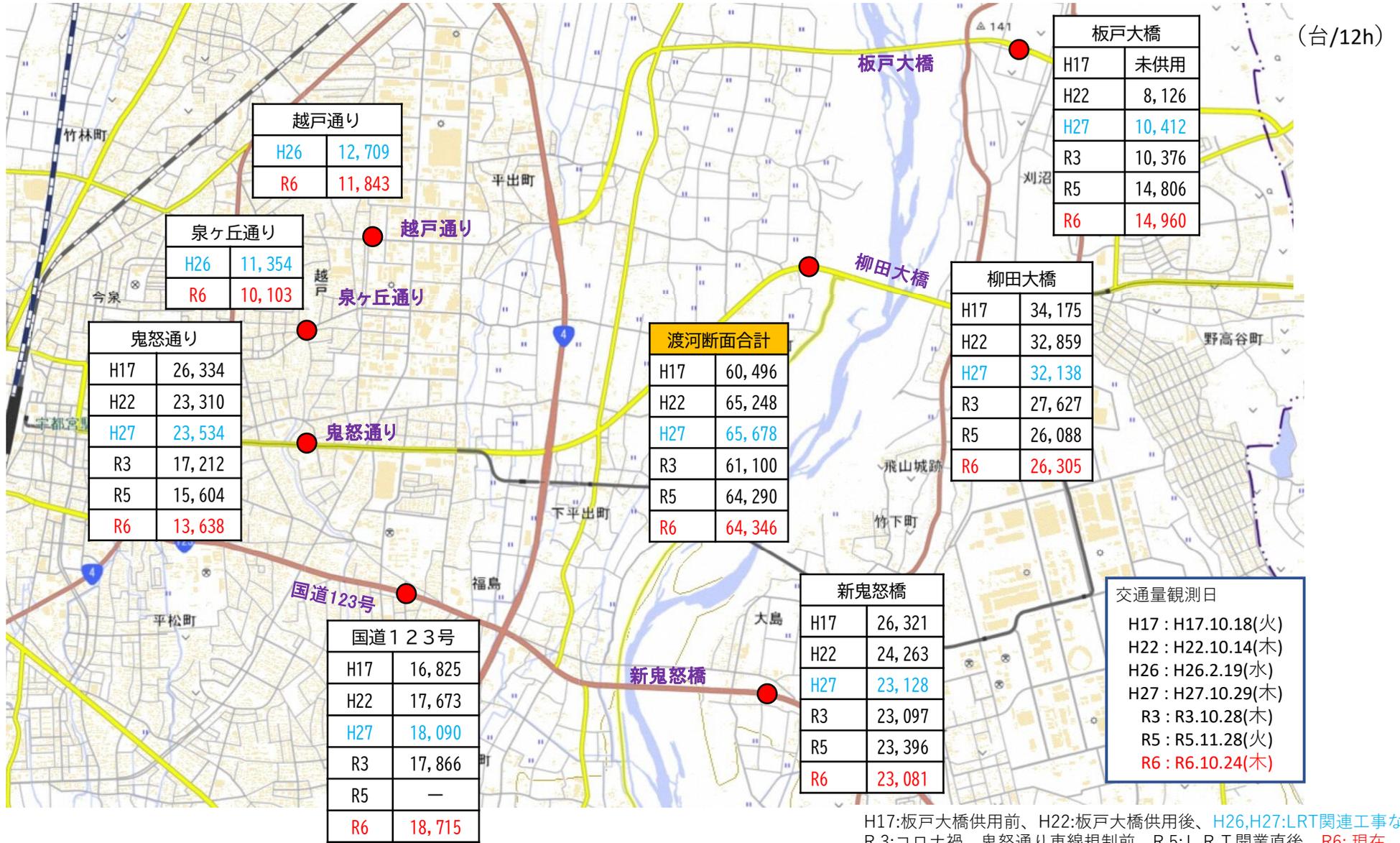
宇都宮市東部地域の交通量の推移について

1. 年度別交通量の比較
2. 交通量調査ポイントの追加
3. まとめ
4. 今後の取組



1 年度別交通量の比較 (昼間12時間自動車類交通量)

- 市街地4地点と鬼怒川渡河部3地点で交通量調査を実施

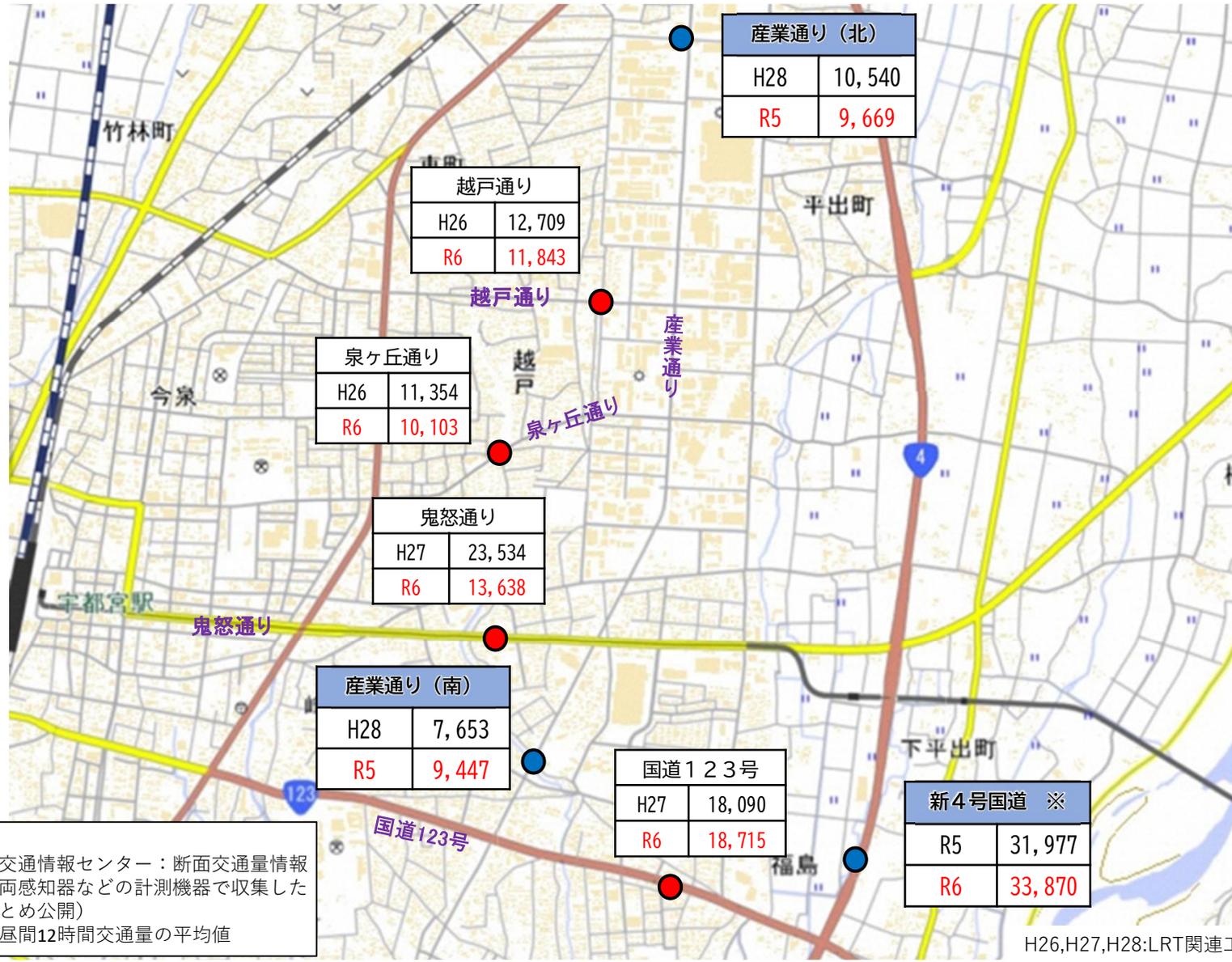


- 鬼怒川渡河断面の合計交通量は、H27より減少しており、ライトライン開業後1年間においてもその**状態を維持**
- 市中心部における鬼怒通りの交通量は、ライトライン開業後の1年間で**約2,000台減少**

2 交通量調査ポイントの追加 (昼間12時間自動車類交通量)

(台/12h)

- 市街地において新4号国道，産業通りの交通量を追加



H26	H26.2.19(水)
H27	H27.10.29(木)
H28	H28.10.27(木)
R5	R5.11.28(火)
R6	R6.10.24(木)

※ 公益財団法人日本道路交通情報センター：断面交通量情報 (各都道府県警察が車両感知器などの計測機器で収集した断面交通量を取りまとめ公開) 各年6月の平日1か月の昼間12時間交通量の平均値

H26,H27,H28:LRT関連工事なし、R5:LRT開業直後、R6:現在

- 産業通り(南)の交通量は、H28より増加しており、交通量が約1,800台増加
- 新4号国道の交通量は、ライトライン開業後の1年間で約1,900台増加



南北方向の道路で増加傾向

3 まとめ

① 鬼怒川渡河部の交通量変化のまとめ

	板戸大橋付近	柳田大橋付近	新鬼怒橋付近	鬼怒川渡河部全体
H27→R3	・ 交通量変化は少ない	・ 交通量が減少	・ 交通量変化は少ない	・ 交通量が減少
R3→R5	・ 交通量が増加	・ 交通量が減少	・ 交通量変化は少ない	・ 交通量が増加するが、 H27より減少
R5→R6	・ 交通量変化は少ない	・ 交通量変化は少ない	・ 交通量変化は少ない	・ 交通量を維持

H27：ライトライン関連工事なし
H28：ライトライン関連工事なし
R 3：コロナ禍
鬼怒通り車線規制前
R 5：ライトライン開業直後
R 6：ライトライン開業1年後

② 市街地部の交通量変化のまとめ

	鬼怒通り		越戸通り，泉が丘通り， 国道123号		産業通り(南)		新4号国道
H27→R3	・ 交通量が減少						
R3→R5	・ 交通量が減少	H27→R6	・ 交通量変化は少ない	H28→R5	・ 交通量が増加		
R5→R6	・ 交通量が減少					R5→R6	・ 交通量が増加

- ① 鬼怒川渡河部：自動車交通量は，コロナ禍前より減少しており，ライトライン開業後の1年間においてもその**状態が維持**されている。
- ② 市街地部：鬼怒通りにおいて，**交通量が減少**しており，産業通りや新4号国道において，**交通量が増加**している。

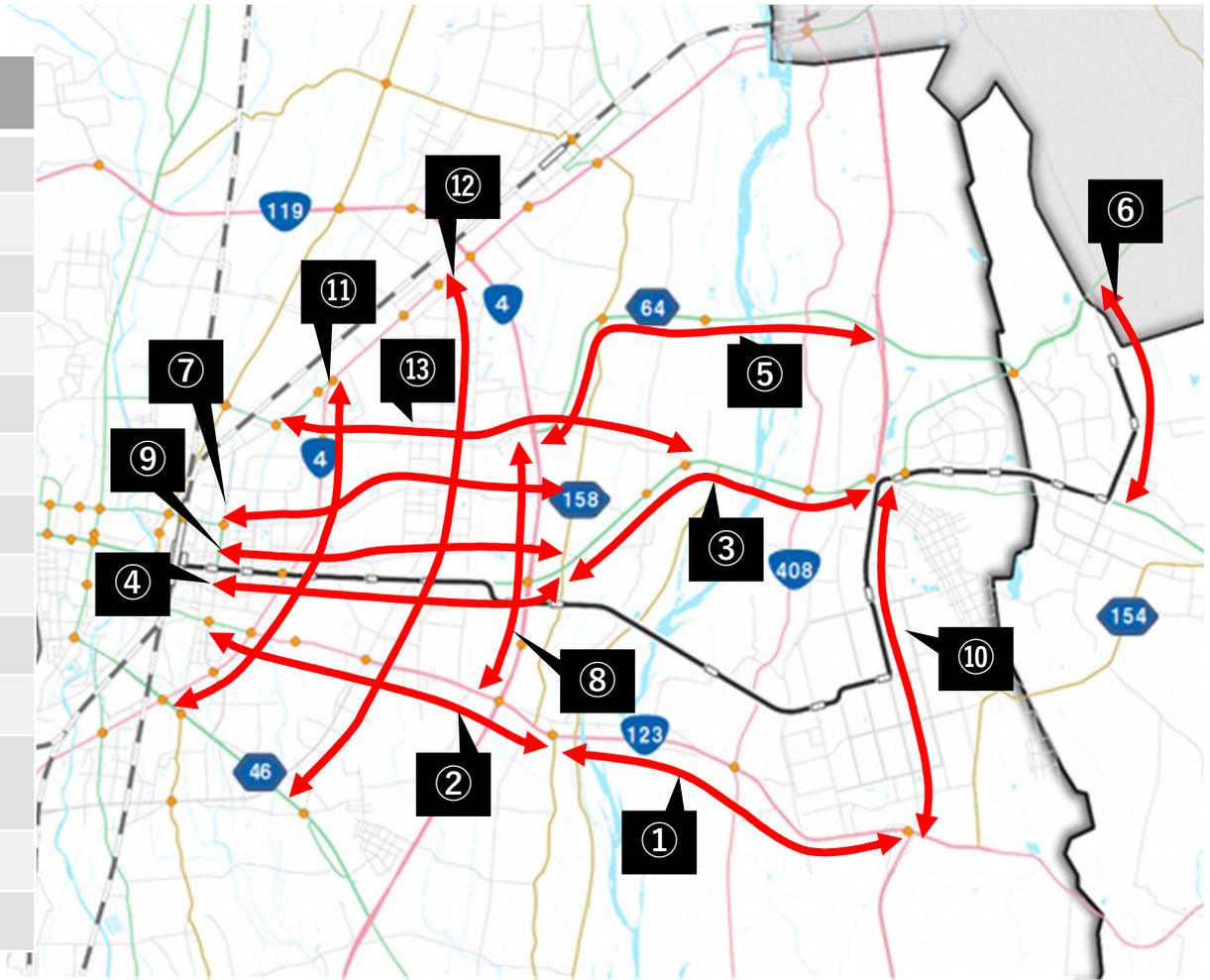
- 引き続き，宇都宮市東部地域における交通量の推移やライトライン利用者の交通手段転換状況を確認するため，調査分析を行っていく。
- 今後は，ETC 2.0のプローブデータを活用することにより，面的な交通流動の変化を分析していく。

4 今後の取組(ETC2.0を活用した分析)

- 対象区間については、ライトライン並行路線や、南北の主要道路等の13区間を設定
- 対象区間における、**主要断面のOD構成**や**速度分布**、**所要時間の変化**などについて把握

図 分析対象区間

分析対象区間	
①国道123号(水戸街道)	渡河区間
②国道123号(水戸街道)	市街部区間
③県道64号(鬼怒通り)	渡河区間
④県道64号(鬼怒通り)	市街部区間
⑤県道64号(宇都宮テクノ街道)	渡河区間
⑥町道3・3・4号台の原下原線:かしの森公園通り	
⑦市道920号~市道319号	
⑧国道4号:寺内交差点~石井交差点区間	
⑨市道1635号線(柳田街道)	
⑩市道1433号線:清原中央通り	
⑪国道4号:宇都宮市東町交差点~ 築瀬3丁目交差点区間	
⑫市道1175線・市道2690線:産業通り	
⑬市道21号(競輪場通り~平出街道)	



- ライトラインの開業や道路整備による、道路の利便性や交通流動の変化について分析を行う。
- また、既に本協議会で公表されている鬼怒通り等の交通量変化の要因について分析を行う。